

# 平成 29 年度 学校教育自己診断について

1. **実施時期** 保護者：平成 29 年 1 月 20 日～ 24 日  
教職員：平成 29 年 1 月 2 日～ 8 日
2. **回収率** 保護者：130/182 71.4% (前年度 61.9%)  
教職員：133/135 98.5% (前年度 94.8%)

## 3. 調査に関する変更事項

教育振興室長からの「学校教育自己診断」の実施について(通知)平成 29 年 7 月 6 日 教高第 2000 号により、学校教育自己診断の診断項目の変更を行う。本校では、既存の診断項目に対して「いじめに関するもの」「進路指導に関するもの」を下表の通り変更する。また、本校の学校経営計画中期目標の「児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを踏まえた推進」の評価基準として診断項目を新設する。

	昨年度の診断項目(変更前)		今年度の診断項目(変更後)
保護者向け	学校は、子どもにあった進路指導に取り組んでいる。	→	学校は、将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。
	記載なし	→	学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。
	記載なし	→	異年齢集団での共同学習の実施や、どこでもカフェ事業を通して、自分らしい生き方を実現していくキャリア教育によく取り組んでいる。
教職員向け	記載なし	→	いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。
	あなたは、児童生徒(生活)指導において、関係諸機関(医療や福祉等)と緊密な連携ができています。	→	学校は、児童生徒(生活)指導において、関係諸機関(医療や福祉等)と緊密な連携ができています。
	記載なし	→	授業シート(キラシート)の活用や、異年齢集団の共同学習の実施、どこでもカフェ事業を通して、自分らしい生き方を実現していくキャリア教育を推進している。

## 4. これまでの課題

- 危機管理に係わる内容の情報発信の検証
- 会議・研修の在り方
- 学校経営計画(めざす学校像・今年度の重点目標)の共有と浸透
- 各学部目標・各教科領域の目標の共有と浸透
- 学校教育自己診断の活用。この自己診断の結果と分析、学校協議会からの意見を全教職員が共有し課題意識を持つ

## 5. 今後の課題

- いじめ対策の校内・保護者周知
- キャリア教育の内容充実と発信
- 進路指導(職業教育含む)に関する取組みの更なる内容発信
- 諸会議等で議論し合える風土づくり
- 保護者からの学校への意見等を集約する方法(情報収集ルートの見える化)の検討